

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

532-585

事務事業名	辺地対策道路改良事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	2	3	12	5	50,000
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	済み	関連計画条例等						辺地に係る総合整備計画
		事業期間	15	年度～	19	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	辺地内の重要市道及び地区中心地へ連絡する市道 辺地法に基づく対象地区住民(米峰辺地・毛呂窪辺地)	路線延長:m	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			3300	3300		
		住民数:人	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			311			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
狭く曲がった市道を通行しやすく改良する	供用開始延長:m	18目標	2665	最終目標	3300	19
		18実績	2335	19目標	3300	↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」に基づき、辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準の著しい格差の是正を図るため、公共的施設の総合的、かつ、計画的な整備を促進する事業である。 米峰辺地 道路改良 L=2,300m 毛呂窪辺地 道路改良 L=1,000m	18年度の実績 物件補償 用地買収 工事施工 米峰 L=530m 毛呂窪 L=340m	工事施工延長:m	870
	19年度計画 用地買収 工事施工 米峰 L=120m 毛呂窪 L=76m	工事施工延長:m	196	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	99,000	50,000
	その他		
一般財源			
事業費計(A)	99,000	50,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 288	19年度 288
	臨時職員等所要時間	24	24
	人件費計(B)	1,056	1,056
	トータルコストA+B	100,056	51,056

特定財源内訳や補足事項	辺地対策事業債(100%)
-------------	---------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	便利で安全に移動ができる。	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路)(%)	現状値	52.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	45
	市内の移動に不便を感じる市民の割合(交通機関)(%)		現状値	37.6	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	35	

この事業を開始したきっかけ 「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」に基づき、辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準の著しい格差の是正を図るため。	事業を取り巻く状況の変化 社会基盤の整備が年々進んでおり、辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準の著しい格差は減少(解消)されてきている。	事業に対する市民や議会の意見 辺地地区から、この事業に対する要望が強い。
--	--	---

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) この事業が完了することにより、本辺地地区の交通網が整備される	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がない (その理由) 現在の計画が最良である
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 辺地法で規定された地区の道路	廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準の著しい格差が減少(解消)されない。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 辺地内の移動は車主体であるため、通行しやすい道路への改良が必要な意図である	他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 市道の整備である	効率性評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 可能 (その理由) 工法等を検討することにより、事業費の削減を図る
	公平性評価 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 不特定多数が通行するため、受益者の特定が難しい	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 工法等を検討し、コストの縮減を図る。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	